

石川県立鹿島少年自然の家の平成20年度管理状況

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
指定管理者	財団法人石川県民ふれあい公社 代表者 理事長 栗原 正一
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
施設の利用の促進に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・職員接遇研修会 職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施 その他特記事項 ・天体観測簡易施設の設置 ・HPのリニューアル ・広報リーフレットの作成 ・施設独自の事業を企画して実施(パン作りなど)
施設の施設、設備お呼び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設管理、消防設備管理、電気工作物管理、危険物貯蔵施設管理、浴室等管理、構内管理、衛生管理、清掃管理、廃棄物収集運搬、その他設備保守
施設の使用の承認に関する業務	使用承認、使用承認の取り消し及び使用の制限((2) 参照)
施設の使用料の徴収に関する業務	使用料の徴収、納入 ・使用料の収入実績((3) 参照)
(その他、施設の管理に関し、知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急連絡網、消防計画等を作成 個人情報の管理 ・職員全員に周知し、適正に管理

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H19年度 (参考)	H20年度	前年度比	増減理由
総利用者数(人)	12,103	13,930	115%	いしかわ子ども自然学校参加者増等。

使用許可等の状況

	承認件数
鹿島少年自然の家	181

使用承認の取り消し及び使用の制限はなし。

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
食事料	10,861 千円		
寝具料	1,037 千円		
暖房料	142 千円		
スキー用具料	41 千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	33,400	人件費	28,137
利用料収入	12,081	光熱水費	2,867
その他	2,629	修繕費	1,095
		設備保守	643
		食材費	8,726
		その他(消耗品、消費税等)	7,399
合計	48,110	合計	48,867
収支差額	757		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(通年実施 有効回答数 69件)

項目	回答				
	良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
利用者サービス	81.2%	18.8%	-	0%	0%
施設の維持管理	36.5%	56.4%	-	7.1%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成20年	昆虫とふれあう活動があると良い。 職員が非常に親切でありがたかった。	新たな活動プログラムを実施。

事故、故障等

年月	内容	対応
平成20年9月	館内消防用設備不良	修理
平成21年1月	事務室ルーター故障	修理

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすよう努めている。 ・天体観測簡易施設を設置し、利用促進に努めている。 ・HPをリニューアルし、利便性を高めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕等に適切に対応している。 ・施設内は清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされている。 ・非常時の連絡体制や消防計画などが定められ、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護や宿直業務などが、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。 ・利用促進の取組の結果、利用者数が増加している。

評価基準

- A(優): 仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--